

# 統計調査ニュース

No.397

令和元年（2019年）12月



## 令和2年国勢調査の実施に向けて

総務省統計局統計調査部長 井上 卓

令和に変わり最初の年も、残すところあとわずかとなりました。今年、度重なる台風や、集中豪雨などにより、広範で甚大な風水害にみまわれ、多くの方が被災されました。被災された皆様方に改めてお見舞い申し上げます。

また、そうした中であっても、調査員、指導員、都道府県や市区町村の職員の皆様方の多大なるご尽力により、統計調査を実施することができました。皆様方のご努力に対して、深く感謝を申し上げます。

さて、来年は東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されますが、我が国最大の統計調査である国勢調査が実施される年でもあります。大正9年に原敬内閣の下で行われた第1回国勢調査から数えて来年で100年の節目を迎えます。

総務省では、本年10月1日に総務大臣を本部長とする「令和2年国勢調査実施本部」を設置しました。

令和2年国勢調査では、以下の3つに重点を置き、取り組んでまいりたいと考えています。

### ① インターネット回答の積極的な推進

平成27年の国勢調査では、インターネット回答率は36.9%でした。今回の調査では、それをさらに上回る回答率を目指して、様々な取組を進めてまいります。

### ② 誰もが答えやすいバリアフリーな調査

インターネット回答を多言語対応とするとともに、紙の調査票についても拡大文字調査票や点字調査票、27言語に対応した外国語調査票を用意する予定です。コールセンターも多言語対応とし、聴覚障害者向けのヘルプデスクの設置など、外国人や障害者、高齢者の方々も含め、多様な支援体制を整備する予定です。

### ③ 企業や団体の活動・サポートとのコラボレーション

企業や各種団体の皆様のCSR活動と連携し、国勢調査への協力・回答の促進に向けたムーブメントを起こしてまいりたいと考えております。インターネット回答の推進や調査員活動のサポートなど、幅広く展開してまいります。

国勢調査は、外国人も含め我が国に住んでいる全ての人を調べる調査であり、衆議院議員小選挙区の区割りを始め、様々な施策の基礎となるものです。また、国勢調査に回答するということは、「ここにいるよ」と一人一人が国に呼び掛けることでもあります。国勢調査は民主主義の礎です。皆様と手を携えて取り組んでまいります。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 目次

令和2年国勢調査の実施に向けて	1
令和2年国勢調査の実施に向けて（その8）	2
令和元年度 統計データ・グラフフェアの開催について	3
第69回全国統計大会を開催しました！	4

国連アジア太平洋統計研修所 「持続可能な開発目標（SDGs）のモニタリングのための公的統計の理論と実務」コースの実地研修について	6
中核市発とうけい通信④	7

# 令和2年国勢調査の実施に向けて(その8) -「国勢調査100年のあゆみ」の刊行について-



総務省統計局では、国勢調査100年の節目を迎えるに当たり、国勢調査の歴史、各回の調査結果の概略とこれらにまつわる話題をまとめた「国勢調査100年のあゆみ」を刊行しました。



国勢調査は、大正9年(1920年)の第1回調査以来、国の最も基本的で重要な統計調査として実施しており、令和2年(2020年)に100年の節目を迎えることとなります。

この間、国勢調査は、皆様の御理解と御支援の下、日本の国と地域の人口とその構造、世帯の実態を明らかにし、様々な統計データを社会に提供してきました。

この「国勢調査100年のあゆみ」は、国勢調査の歴史、各回の調査結果の概略とこれらにまつわる話題をまとめたものです。多くの方に御覧いただき、国勢調査への関心と理解を深めていただければ幸いです。

「国勢調査100年のあゆみ」URL

<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/ayumi/>



講談で綴る 2020年は「国勢調査」百年の年でございます。



## 第一部 国勢調査はじまり物語

話は明治4年からはじまります。戸籍調べでは、スタチスチック(統計)を実現できないと主張した人物がいました。

さてさて彼が次に起こした行動は?それこそ国勢調査のテスト調査だったのでございます。



## 第二部 早わかり百年のあゆみ

大正9年に汽笛一声、イエ全国一斉はじまりました国を挙げての大事業、国勢調査。その後も5年ごと、日本全国、全世界帯限なく調査員が訪れ、今に至ります。100年にわたる国勢調査の歴史を時代の流れにのせて駆け抜けます。



## 第三部 データで見る100年

語る主役は「データ」でございます。

データというと、無味乾燥な数字だと思いませんか? いえいえ、国勢調査の人口データこそ、私たち自身や父母、祖父母ら一人一人で織り成される生きた数字なのです。



「国勢調査」百年の歴史を講談でお聞きいただけます▶▶  
(ホームページよりYouTubeへリンク)

## 令和元年度 統計データ・グラフフェアの開催について

総務省政策統括官（統計基準担当）室では、「統計の日」（10月18日）の関連行事の一つとして、10月19日（土）・20日（日）の2日間、新宿駅西口広場イベントコーナー（東京都新宿区）において、総務省、東京都及び公益財団法人統計情報研究開発センターの共催により、「統計データ・グラフフェア」を開催いたしました。

会場では、統計グラフ全国コンクールの入選作品等の展示のほか、各都道府県の魅力が分かる企画展示、各省の統計調査の紹介等、統計の大切さ、面白さを感じていただける展示を目指し、開催いたしました。

開催においては、関係省庁及び地方公共団体、日本銀行等から、展示物及び各種統計資料を御提供いただく等、多くの皆様の御協力を得て実施しました。本年も御盛況をいただき、開催2日間で約4,800人もの大変多くの方に御来場いただきました。御協力賜りました皆様に心より感謝申し上げます。以下、当フェアの様子について、紹介いたします。

### 統計グラフコンクール入選作品展示コーナー

統計グラフ全国コンクールの入選作品及び東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県統計グラフコンクールにおける入選作品を合わせて約200作品展示いたしました。

全国の小学校、中学校、高等学校・一般等、各部門ごとに、世界規模の大きなテーマから身近なものを観察したテーマまで、統計グラフを用いて作成された、様々な視点による工夫の凝らされた作品を展示いたしました。多くの方が来場され、熱心に御覧になっていました。御来場いただいた入選者や御家族には、記念品の贈呈や、センサスくんのみらいちゃんとの記念撮影を行いました。また、20日（日）午後に会場を訪れた入選者へは、横田信孝政策統括官から記念品の贈呈や記念撮影を行いました。



（統計グラフコンクール入選作品展示コーナーの様子）



（横田統括官から入選者への記念品贈呈の様子）

### 都道府県の企画展示コーナー

各都道府県に御協力いただき、統計データを用いた都道府県の魅力が分かる企画展示（パネル展示）や、地域の特色や観光等の様々な資料・パンフレットの配布などの広報展示を行いました。大変多くの方が訪れ、パネルの写真撮影に加え、興味を持った資料やパンフレットを手に取り持ち帰る方が多く、大変な賑わいを見せました。



（都道府県の企画展示コーナーの様子）

### 各府省の統計調査紹介コーナー

来場者の皆様に国が実施する統計調査への関心と理解を深めていただくため、各省庁から提供していただいた調査の概要、統計調査公表資料、活用事例紹介資料の配布とともに、統計調査結果を活用したパネル、報告書、各種統計調査のポスター等の広報資料の展示を行いました。公表資料等の各種資料を持ち帰る方や展示を熱心に見る方など、各府省の統計に興味関心を持つ方々が見られました。

前記のほか、今年度の「統計の日」標語の入選作品の紹介等の「統計の日」関連コーナーや、子供から大人まで統計を気軽に学べる「統計教育紹介コーナー」を設けました。

総務省政策統括官（統計基準担当）室では、国民の皆様に統計の重要性に対する関心と理解を深め、統計調査に対するより一層の御協力をいただけるよう、引き続き、統計の普及・啓発活動に取り組んでまいります。

# 第69回全国統計大会を開催しました！

全国統計大会は、10月18日「統計の日」の行事の一つとして、国、地方公共団体、関係団体等の統計関係者が一堂に会し、我が国の統計の進歩・発展のみならず、統計の普及や活用に資することを目的に開催しています。

69回目を迎える今大会は、総務省及び公益財団法人統計情報研究開発センターの主催により、令和元年11月18日（月）、東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホールにおいて、高市早苗総務大臣、進藤金日子総務大臣政務官も出席し、全国から500名を超える統計関係者の参加の下、開催しました。

## 開会

開会に当たって、まず、主催者として、高市総務大臣から挨拶がありました。次に、公益財団法人統計情報研究開発センターの杉浦正健会長から挨拶があり、来賓として都道府県統計連絡協議会会長の影山忠男東京都統計部長から祝辞を頂きました。



主催者挨拶をする高市総務大臣

## 各種表彰

令和元年度に統計調査の実施、統計の普及等に功績のあった方々や団体に対し、「統計調査功績者」各省大臣表彰、地方公共団体における統計データ利活用表彰、統計データ分析コンペティション入賞者表彰、第67回統計グラフ全国コンクール入賞者表彰、「統計の日」標語入選者表彰、大内賞受賞者表彰が行われました。

## 受賞団体・受賞者（敬称略）

### 《「統計調査功績者」各省大臣表彰》

総務大臣表彰 伊達 浩子（兵庫県）  
金岡 エミ子（香川県）  
厚生労働大臣表彰 川浪 洋子（長崎県）  
農林水産大臣表彰 堀田 博（北海道）  
経済産業大臣表彰 田島 善行（東京都）  
国土交通大臣表彰 黒部エムテック株式会社（群馬県）



進藤総務大臣政務官による表彰状の授与

### 《第4回地方公共団体における統計データ利活用表彰》

総務大臣賞 神奈川県葉山町  
統計局長賞 福島県会津若松市  
特別賞 東京都港区、兵庫県姫路市、和歌山県

### 《統計データ分析コンペティション入賞者表彰》

総務大臣賞＜高校生の部＞  
竹内 遥, 江本 もえ,  
木下 舞, 永井 あゆる  
＜大学生・一般の部＞  
張 瀚天, 白鳥 友風  
優秀賞＜高校生の部＞  
吉田 美咲, 渡邊 璃里香  
＜大学生・一般の部＞  
竹内 太郎  
統計数理賞＜高校生の部＞  
猪狩 信人  
＜大学生・一般の部＞  
松本 洋輔  
統計活用奨励賞＜高校生の部＞  
大段 利々子  
＜大学生・一般の部＞  
村松 波, 熊野 翔  
川田 瑛貴

### 《第67回統計グラフ全国コンクール入賞者表彰》

総務大臣賞  
根岸 浩志朗（茨城県茨城中学校2年生）  
鈴木 隆生（茨城県日立市立河原子中学校1年生）  
文部科学大臣賞  
宮本 紗帆（福岡県春日市立春日東小学校1年生）

日本統計学会会長賞

川口 龍之介（埼玉県立教新座高等学校2年生）

日本品質管理学会賞

山田 彩陽（香川県丸亀市立岡田小学校4年生）

金丸 三郎 賞

前田 壮一朗（香川県高松市立太田南小学校5年生）

石橋 信夫 賞

佐藤 紗雪（大分県大分県立安心院高等学校1年生）

《令和元年度「統計の日」標語入選者表彰》

特選

（中学生の部）

三浦 颯（宮城県仙台市立第一中学校2年生）

佳作

（小学生の部）

益地 観那（福岡県香陵小学校2年生）

（高校生の部）

牧 皓亮（京都府立北桑田高等学校3年生）

（一般の部）

後藤 順（岐阜県岐阜市）

（統計調査員の部）

山田 恵美（滋賀県近江八幡市統計調査員）

（公務員の部）

山下 雅也（財務省名古屋税関職員）

《大内賞》

齊藤 綾子（岩手県滝沢市 統計調査員）

藤井 かほる（神奈川県厚木市 統計調査員）

古津 恵子（徳島県徳島市 統計調査員）

受賞者謝辞

各種表彰の後、受賞者代表として、「統計調査功績者」総務大臣表彰を受賞した香川県の金岡エミ子様から謝辞が述べられ、授与者、主催者を代表して進藤総務大臣政務官が拝受しました。



謝辞を受ける進藤大臣政務官



第69回全国統計大会集合写真

# 国連アジア太平洋統計研修所

## 「持続可能な開発目標（SDGs）のモニタリングのための 公的統計の理論と実務」コースの現地研修について

### 国連アジア太平洋統計研修所とは

国連アジア太平洋統計研修所（SIAP）は、開発途上国の政府統計職員に対し、より高い統計の実務能力を養成することなどを目的とした、国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）の補助機関です。千葉県千葉市にあり、総務省が招請国政府の協力機関となっており、1970年の設立以来、アジア太平洋諸国だけでなく、アフリカや中南米も含めた、世界中の政府統計職員約1万9700人を養成してきました。

### 「持続可能な開発目標（SDGs）のモニタリングのための 公的統計の理論と実務」コースの現地研修の実施

このコースは、開発途上国における「持続可能な開発のための2030アジェンダ」及び「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs<sup>(\*)</sup>）」に不可欠な公的統計の整備・充実を図る見地から、アジア太平洋地域等の開発途上国の政府統計職員に対して、統計調査及び指標の設計・解釈・公表における基礎理論と実務及び主要な公的統計の作成・解釈・普及の基準や枠組みについて研修を行い、知識及び公的統計作成能力を向上させることを目的としています。今年度はボツワナ、エジプト、インドネシア、カザフスタン、マラウイ、ネパール、スーダン、タジキスタン、東ティモールの9か国から10名の研修員が参加しています。

本研修コースの一環として、香川県及び高知県の2班に分かれ、県の協力を得て、令和元年10月29日（火）～31日（木）の3日間にわたり、地方公共団体における統計業務や家計調査業務についての研修、家計調査世帯への訪問などを行いました。

(※) 2015年9月に国連で採択された、2016年から2030年までの国際的な開発目標で、17のゴール・169のターゲットから構成される。

### ◆ 香川県 現地研修日程 ◆

10月29日（火）

統計調査課長表敬訪問、県勢概要・業務概要・家計調査の概要説明、統計調査課執務室視察



統計調査課長表敬訪問

10月30日（水）

調査区視察、家計調査世帯インタビュー、施設訪問、質疑応答、意見交換会



調査区視察

10月31日（木）

施設訪問



製造業関連事業所の施設訪問

### ◆ 高知県 現地研修日程 ◆

10月29日（火）

総務部長表敬訪問、県勢概要・業務概要・家計調査の概要説明、統計分析課執務室視察、施設訪問



県勢概要等説明

10月30日（水）

調査区視察、家計調査世帯訪問、施設訪問、質疑応答、意見交換会



家計調査世帯訪問

10月31日（木）

施設訪問



農業関連事業所の施設訪問

## 中核市発とうけい通信⑥4

## 130年目の港街「佐世保市」

佐世保市は長崎県の北部に位置し、面積約426km<sup>2</sup>、人口約25万人を有する都市です。

## 【佐世保市の概要】

令和元年11月1日現在	
人口総数 246,920人	世帯数 105,482世帯
男 117,046人	令和元年7月1日現在
女 129,874人	面積426.06km <sup>2</sup>

## 佐世保鎮守府開庁130周年

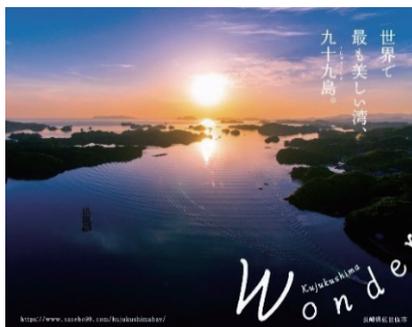
明治22年に海軍佐世保鎮守府が設置され、今年、佐世保鎮守府から開庁130周年を迎えました。

戦前は海軍とともに発展し、現在も米海軍、海上自衛隊、陸上自衛隊の基地が所在する基地の街として知られています。戦後は平和産業港湾都市として、造船や炭鉱を柱とした産業の発展を経て、長崎県県北地域、更には佐賀県西部地域の中心都市となっており、平成28年4月に中核市へ移行しました。

今日、佐世保市を連携中枢都市（中心市）とした5市6町（長崎県9市町、佐賀県2市町）で構成する「西九州させほ広域都市圏」を形成し、圏域全体の活性化に取り組み、相互に住民の生活を支え合える魅力的な圏域発展を目指しています。

## 豊かな自然と文化が根付くまち

大小208の島々が織りなす美しい景観を誇る「西海国立公園<sup>さいかい</sup>九十九島<sup>くじゅうくしま</sup>」は、昨年、フランスに本部を置くNGO「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟認定されました。



九十九島湾

また、国の重要文化財「黒島天主堂」が所在する「黒島の集落」は、2018年7月に、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界文化遺産に登録されました。

その他、日本遺産に認定された「佐世保鎮守府」や「三川内焼」、日本最大級のテーマパーク「ハウステンボス」などを有する観光都市であると同時に、「西海みかん」、

## 佐世保市政策経営課統計班

「九十九島牡蠣」、「九十九島とらふぐ」をはじめ、全国に誇れる様々な農水産物を生産しています。新鮮な海の幸、「長崎和牛」のほか、「佐世保バーガー」「レモンスターキ」「入港ぜんざい」など、地勢と文化が育んだ自慢のグルメも豊富です。

市内には米軍基地があり、また、広範囲な地域から人が流入して成長した都市であることから、市民は多様性に富んでいます。



黒島天主堂



三川内焼

## 日本本土最西端の地

当市には、西海国立公園の潮騒と澄切った青い海を望む「日本本土最西端の地（神崎鼻）」がごさいます。

この地を訪れた方のうち、毎年約1万人の方が「日本本土四極最西端出発・訪問・到達証明書」の交付を受けています。



神崎鼻

佐世保にお越しの際には、是非お立ち寄りください。

【佐世保市観光情報】へのアクセスはこちらから】

<https://www.city.sasebo.lg.jp/kanko/index.html>



# 最近の数字

実数	年	月	人口		労働・賃金			産業		家計(二人以上の世帯)		物価	
			総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
			千人(Pは万人)	万人	%	円	2015=100	兆円	円	円	2015=100	2015=100	
2019.	6	7	126,252	6747	2.3	451,692	101.4	31.7	276,882	709,195	101.6	101.6	
	8	7	P 12622	6731	2.2	374,621	102.7	P 31.8	288,026	501,522	101.6	101.5	
	9	8	P 12623	6751	2.2	276,699	101.5	P 31.4	296,327	431,804	101.8	101.8	
	10	9	P 12615	6768	2.4	271,945	103.2	P 33.3	300,609	370,189	101.9	101.8	
	11	10	P 12614	6787	2.4	P 273,466	P 98.9	...	279,671	446,417	102.2	102.1	
	12	11	P 12618	...	...	...	...	...	...	...	...	...	P 102.2
前年 同月比	2019.	6	-	0.9	* -0.1	0.4	* -3.3	0.3	2.7	3.0	0.7	1.1	
	7	-	1.1	* -0.1	-1.0	* 1.3	P 1.8	0.8	0.8	0.9	0.5	0.9	
	8	-	1.0	* 0.0	-0.1	* -1.2	P 0.7	1.0	-2.5	-2.5	0.3	0.6	
	9	-	0.8	* 0.2	0.5	* 1.7	P 3.9	9.5	-1.4	-1.4	0.2	0.4	
	10	-	0.9	* 0.0	P 0.5	* P -4.2	-	-5.1	0.1	0.1	0.2	0.4	

(注) P：速報値 \*：対前月

家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値。各月の前年同月比は、2018年1月に行った調査で使用する家計簿の改正の影響による変動を調整した変動調整値。

## 掲示板 統計関係の主要日程 (2019年12月～2020年1月)

### 《会議及び研修関係等》

時 期	概 要	時 期	概 要
12月1日	オンライン研修【第3回】「初めて学ぶ統計-公務員のためのオンライン講座-」開講(～31日)	1月1日	オンライン研修【第3回】「統計データのできるまで-統計的推測の基礎②-」開講(～31日)
〃	オンライン研修【第3回】「統計データのできるまで-統計的推測の基礎①-」開講(～31日)	16日	統計研修 統計入門課程「統計実務者向け入門(1月)」開講(～17日)
17日	統計研修 統計入門課程「統計利用者向け入門(12月)」開講(～18日)	20日	統計研修 統計専門課程「経済予測」開講(～24日)
19日	統計研修 統計基本課程「GISによる統計活用」開講(～20日)	29日	統計研修 特別コース「ビッグデータ利活用-基礎から応用まで-」開講(～30日)

### 《調査結果の公表関係》

時 期	概 要	時 期	概 要
12月6日	家計調査(家計収支編：2019年10月分)公表	1月20日	人口推計(2019年8月1日現在確定値及び2020年1月1日現在概算値)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：2019年10月分)公表	24日	消費者物価指数(全国：2019年12月分及び2019年平均)公表
〃	消費動向指数(CTI) 2019年10月分公表	〃	小売物価統計調査(全国：2019年12月分)公表
〃	小売物価統計調査(ガソリン) 2019年11月分公表	31日	平成30年住宅・土地統計調査(住宅の構造等に関する集計)公表
13日	2019年(令和元年)科学技術研究調査結果公表	〃	労働力調査(基本集計) 2019年12月分、2019年10～12月期平均及び2019年平均(速報)公表
20日	人口推計(2019年7月1日現在確定値及び2019年12月1日現在概算値)公表	〃	家計調査(貯蓄・負債編：2019年7～9月期平均)公表
〃	消費者物価指数(全国：2019年11月分)公表	〃	消費者物価指数(東京都区部：2020年1月分(中旬速報値))公表
〃	小売物価統計調査(全国：2019年11月分)公表	〃	小売物価統計調査(東京都区部：2020年1月分)公表
26日	住民基本台帳人口移動報告(2019年11月分)公表	〃	サービス産業動向調査(2019年11月分速報及び2019年8月分確報)公表
27日	労働力調査(基本集計) 2019年11月分(速報)公表	下旬	住民基本台帳人口移動報告(2019年12月分)公表
〃	消費者物価指数(東京都区部：2019年12月分(中旬速報値)及び2019年平均(速報値))公表	〃	住民基本台帳人口移動報告(2019年結果)公表
〃	小売物価統計調査(東京都区部：2019年12月分)公表		
〃	サービス産業動向調査(2019年10月分速報及び2019年7月分確報)公表		
31日	統計トピックス 「子年生まれ」と「新成人」の人口-令和2年 新年にちなんで-公表		
1月10日	家計調査(家計収支編：2019年11月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：2019年11月分)公表		
〃	消費動向指数(CTI) 2019年11月分公表		
〃	小売物価統計調査(ガソリン) 2019年12月分公表		

**編集発行** **総務省統計局**

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1  
 総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係  
 TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361  
 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp  
 ホームページ <https://www.stat.go.jp/>  
 御意見・御感想をお待ちしております。